

静岡県美しく豊かな海保全基金会

日本有数の長大な砂浜海岸が特徴的な遠州灘、館山寺や弁天島などの景勝地に恵まれた浜名湖など、静岡の海は、世界に誇るべき美しさと豊かさを有しています。

静岡の海を未来の世代へと引き継いで行くためには、多くの人々・企業・団体による連携と協働が必要です。

このため、静岡県では、行政や民間団体等による取組を強化するため、「静岡県美しく豊かな海保全基金」を令和4年3月に創設し、海洋環境の保全や水産資源の回復に取り組んでいます。

【R4年度の基金の取組内容】

●民間団体の活動支援

静岡の海をフィールドとして、保全活動に取り組む団体へ助成を行っています。

- ・ゴミ拾い活動団体への助成
- ・アカウミガメ産卵環境の保護・調査を行う団体への助成
- ・浜名湖環境保全団体への助成



清掃活動助成金チラシ



企業や団体などによるゴミ拾い活動

●「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」による啓発活動

- ・海の森づくり体験教室の開催
- ・ゴミ拾いSNS「ピリカ」の静岡県ウェブページの導入
- ・清掃イベント&マリンスポーツ体験教室
- ・企業やNPO、自治体関係者の交流会の開催



マリンスポーツ教室

●水産資源の回復に向けた研究開発

- ・サクラエビ等の水産資源の回復に向けた調査・研究
- ・藻場回復に資する研究



海水に含まれる栄養塩類の調査

【静岡県美しく豊かな海保全基金への協力】

環境保全活動や啓発活動、研究開発に関する費用は個人や企業の寄付が取組を支えています。

<基金への協力の方法>

- 県外本社企業(企業版ふるさと納税寄付)
- 県内企業(一般寄付)
- 個人の方(ふるさと納税寄付)

皆様のご寄附が海洋環境保全・水産資源回復の取組を支えます



静岡県美しく豊かな海保全基金WEBサイト



【連絡先】静岡県産業イノベーション推進課

電話 054-221-2609 E-mail sangyo-innovation@pref.shizuoka.lg.jp

浜名湖環境保全団体情報誌 第39号 はまなこ環境通信

発行/静岡県(はまなこ環境ネットワーク)
発行日/令和5年3月9日
事務局/NPO法人地域づくりサポートネット
浜松市中区常盤町133-13
Tel.053-458-3480
Eメール info@shizuoka-t.net



■静岡県教職員の広報誌に浜名湖の保全活動が紹介

静岡県内の教職員の福利厚生に関する広報誌「福利しずおか第106号」(発行:公立学校共済組合静岡支部・静岡県教育委員会教育厚生課)において、「富士山と浜名湖を教材にした学習」として浜名湖の在来種を脅かす『外来植物の対策』が紹介されました。

富士山からの挑戦状

電子書籍を活用して、富士山の知識を深めよう!
～富士山学習リーフレット「富士山からの挑戦状」のご案内～

ふじさんネットワークでは、富士山への親しみや興味を喚起し、富士山を大切にすることを目的に、「富士山学習リーフレット(富士山からの挑戦状)」を作成し、県内教育機関等に提供しております。この「富士山からの挑戦状」を広く教員の皆様へ周知することで、県内の富士山学習の取組を、より推進していきたいと考えております。

これまで、富士山周辺の4市1町を中心に市町の広報誌への掲載や教員研修の場での紹介等にご協力いただいておりますが、まだまだ生徒、児童の手に行き届いていないのが現状です。本誌をお読みいただいた関係者の方で、ご活用いただける場合には下記連絡先(自然保護課内にある事務局)までご連絡下さい。

(「富士山からの挑戦状」は、より多くの学習機会を活用されるよう電子書籍化し、最新版(R3.2)をインターネット上にebooksとして掲載しておりますのでご活用をお願いします。)

授業を行う際に、講師等の派遣等も検討させていただきます。

また、お使いいただいている先生方でご意見等ありましたら、メール等でアドバイスをいただけたらとありがたいです。是非、富士山の日(2月23日)にあわせて、富士山を「想い」「考え」「学ぶ」機会にご活用下さい。

【掲載サイト】
Shizuoka ebooks (https://www.shizuoka-ebooks.jp/) ※トップ画面からはキーワード検索が必要です。

連絡先: ふじさんネットワーク事務局(くらし・環境部 環境局 自然保護課内)
電話: 054-221-3498
メール: 3776fujj@pref.shizuoka.jp
HP: http://www.fujisan-net.gr.jp/

教材にした学習 やらまいか!

海水と淡水が混じり合い、豊かな生態系を有する浜名湖。～在来種を脅かす外来植物の対策が急務になっています!～

近年、浜名湖の「いかり蓮」では、「ナルトサワギク(写真左)」や「オオフタムグラ(写真右)」等の外来植物が繁殖し、「ハマヒルガオ」や「ハマボウフウ」といった在来種の生育地を脅かしているため、外来植物の除去等の対策は急務です。

県では、これまで浜名湖に生息する生物の観察会の開催や、地元団体が実施する環境美化事業への協力・支援等を行ってきました。令和4年度からは、浜名湖の希少植物や外来植物の生育・分布状況を調査し、その成果を外来植物対策につなげていきます。

令和4年10月には、浜名湖の観察と外来植物の抜き取り作業に、23人(うち高校生等13人)に参加していただき行われ、参加者からは、「外来植物という言葉は知っていたが、こんなに広がっていたとは。」「次は、外来植物の説明をもっと聞きたい。」「環境教育に携わりたいので、外来植物を知る機会があつてよかった。」等の感想をいただきました。

こうした声や外来植物の状況を踏まえ、地域の方々による活動を支援するなど、日本の宝である浜名湖の豊かな生物多様性の保全に努めていきたいと考えています。本誌を通じて、広く教員の皆様へ周知することで、新たな参加者(高校生等)を獲得し、取組を活性化していきたいと思っております。

自然保護課では、浜名湖における自然保護活動に限らず、富士山をはじめとした県内各地でこのような活動を実施しております。興味をお持ちの先生方がいらっしゃいましたら当該までご連絡ください。ご参加お待ちしております。

連絡先: くらし・環境部 環境局 自然保護課 富士山・南アルプス保全班
電話: 054-221-3498
FAX: 054-221-3278
メール: shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp

■浜名湖環境パネル展が開催されました

浜名湖ガーデンパークが、浜名湖及び浜名湖周辺で活動する環境に関する団体等の活動紹介パネル展示を実施しました。

- 開催期間 令和5年2月4日(土)～2月28日(火)
- 場所 浜名湖ガーデンパーク「体験学習館」
- 出展団体 7団体(静岡県、浜松市を含む)

一般の入園者に浜名湖の環境に対する取組を知ってもらう機会にもなりました。



浜名湖環境パネル展の様子

出典:「福利しずおか第106号」

団体紹介：むらちゃネット

■活動の経緯・主な活動

むらちゃネットは、2004年の浜名湖花博の終了後、会場となった浜名湖ガーデンパークを有効活用するために2005年にNPO法人として設立。発足当時は会員も多く80名ほどで、村櫛町の自治会の役員経験者が会員として入ってきました。最初はガーデンパーク内のテイクアウト店「お食事処むらちゃ」を運営して手づくりお弁当の販売などをしていました。

村櫛の土地改良で整備された農地が、後継者不足などで次第に耕作放棄地となっていた。環境整備事業として、自治会・土地改良区・当NPOで「村櫛地区環境保全対策協議会」を立ち上げました。耕作放棄地を活用して菜の花やコスモス、ヒマワリなど景観作物の栽培を行い、花畑を一般公開しておりました。

耕作放棄地で米や玉ねぎなどを栽培し、町内の酒販売所で販売。学校などの体験実習として菜の花の種まき、サツマイモ掘りなどの農業体験も提供してきました。地域の子供たちを招待し、アグリ体験（田植え、案山子コンクール）や餅つき大会などを実施してきました。

地域コミュニティの担い手としての役割を果たし、福祉介助事業などにも取り組んでいました。

現在の活動は、静岡県の「ふじのくに美しく品格のある邑」にも登録され、耕作放棄地の環境整備を中心に活動し、草刈り、水路の清掃などを毎週月・水・金曜日に行っています。

はまなこ環境ネットワークも、以前はむらちゃネットの協力・指導のもと「アマモ再利用プロジェクト」として、湖岸に打ち上げられたアマモを畑に堆肥としてすき込んで、市民がアマモを活用して野菜を作る循環型環境学習体験を行ってきました。

■抱える課題

20年前に設立したむらちゃネットは、高齢化と会員の減少（現在34名）により、担い手の人材が不足しています。例年開催してきたイベントなども継続できなくなっています。NPO法人の事務負担もきついため、令和4年10月にNPO法人を解散し、任意団体として活動だけは継続しております。

地区内の耕作放棄の水田もありますが、企業が農地を借りてクレソンやトマト、レタスなどの栽培をしてもらっています。

景観作物である菜の花、コスモスなどの植え付け作業に地域の子どもたちにも参加してもらっていますが、活動に関わる人も年々少なくなっており、今後は持続可能な活動にするために若いメンバーの確保、イベントに参加する人の呼び込みが必要になっています。そのためには、企業がCSRとして関わってもらえるマッチングができればと思っています！



耕作放棄地を花畑に活用



アグリ体験（田植え）



玉ねぎの栽培を行っている畑



企業が水田を活用しクレソンを栽培

むらちゃネット 事務局

住所 浜松市西区村櫛町3589-1 電話 053-488-0800 E-mail muracha@po4.across.or.jp

団体紹介：NPO法人新居まちネット

■活動の経緯・主な活動

新居まちネットは、「新居関所周辺まちづくりの会」の10年の歩みのなかから、歴史を活かしたまちづくりを進めていくために必要な仕組みをつくることを目指して平成22年1月からNPO法人としてスタートした団体です。

そもそも新居関所を中心とした新居の歴史を活かした「まちづくり塾」として平成18年度開催したワークショップで、歴史的建造物旧芸者置屋「小松楼」の活用提案を行い、自分たちで建物の“おそうじ”をするところから活動が始まりました。その後、町（当時）が建物の所有者から寄贈を受け、平成22年に日本財団の支援を受けて大改修をして、「小松楼まちづくり交流館」として保存・活用することになりました。

この施設は観光振興だけでなく、地域の歴史や自然資源を使って体験型の「子ども塾」、高齢者を対象にした平日昼間のミニサービス「地域の茶の間」など住民の拠り所となる場所で在り続けてきました。

地域で活動するさまざまな団体との連携を図り、それぞれの活動がより活発になり、元気な町になっていくことを目指しています。今では、湖西市の指定管理者としてこの施設を管理運営しています。

■抱える課題

- ① 少子高齢化社会の下での地域の子どもが学習できる場としての活用
- ② 周辺の建物が更新・更地化して地域の歴史・文化が壊されていく
- ③ 観光としても、新居だけでなく東海道の今切渡しを追体験し舞坂宿と連携
- ④ NPO法人としての収入を確保（安定経営）

新居まちネットの歴史講座で学んだメンバーで『新居古里ガイドの会』を結成し、会として、東海道新居宿、白須賀宿などの史跡を一緒に歩いて巡る取組（有償）をしています。また、まち歩きに必要なマップも作成しています。地域のお店なども紹介しています。

これまで新居と舞阪は東海道でつながっているものの、なかなか連携することができませんでしたが、令和4年度舞阪町観光協会が実施した「表浜名湖まるごと体験SDGsツーリズム」では、ウォーキングやサイクリングで舞阪・新居を巡る観光ツアー商品造成と連携して仕組みづくりに取り組みました。

NPO法人新居まちネットは、令和4年度ふじのくに文化財保存活用推進団体として静岡県知事より表彰を受けました。今後も、新居と舞阪が連携して東海道「今切渡し」の追体験など街道の歴史・文化を活かした地域づくりに取り組んでいけたらと考えています。

NPO法人新居まちネット 事務局（小松楼まちづくり交流館内）

住所 湖西市新居町新居1190-3 電話 053-594-0540 E-mail info@a-machinet.org



活動の拠点：小松楼まちづくり交流館



町の歴史や文化を紹介する新居まちネット



新居のまち巡りマップ